



6/14 中継送水訓練を実施しました

大井町消防団が山田地内で、山林火災などの水利が乏しい状況を想定した中継送水訓練を実施しました。

高低差のある区間を4台のポンプで中継しながら送水し、約600m先の火点に向けて放水しました。この中継送水は実際の火災現場でも使われており、分団間の連携が非常に重要で、団員の的確な状況判断と迅速な行動が必要となります。

このように消防団はあらゆる火災を想定した訓練を積み重ね、災害から皆さんの町を守っています。

6/18・7/3 すこやか学級（第1・2回）

園児、児童、生徒の保護者を対象に2回シリーズの「すこやか学級」を開催しました。6月18日（木）は「SNS時代を生きる親子のコミュニケーション術～対話で育む情報モラルとメディアリテラシー～」というテーマで行い、講師に花田経子さん（慶應義塾大学大学院KMD研究所）をお招きしました。講師は、情報モラルやサイバーセキュリティを専門とし、ご自身もスマホを持つ高校1年生の保護者。子どもの主体性を大切にしながら、インターネットのリスクを減らす具体的な方法についての話がありました。参加した方の感想には、「子どものネットの使い方で悩んでいたのが参考になった」「子どもとルールを作ることが大切だと学んだ」などがありました。今後も、子どもたちが安心してインターネットやSNSを活用できるよう、保護者とともに情報モラルやメディアリテラシーについて理解を深めていきます。



台風のため予定していた6月3日（水）から延期となり、7月3日（金）に、総合体育館多目的室で2回目のすこやか学級を開催しました。

テーマは「腰や肩回りを整え セルフコンディショニング 生活の質を見直す～自分の生活習慣 くせを意識～」講師に友永美樹さん（健康運動指導士・健康運動実践指導者）をお招きしました。友永先生からは、日頃から育児や家事、仕事などの疲労で固まってしまった筋肉をほぐし、体が楽になるストレッチや運動を教えていただきました。

参加した方の感想には、「久しぶりに運動する時間が取れてリラックスできました」や「体が伸び、すっきりしました」、「楽しくやれば続けられそうなので、がんばってみようと思います」などがあり、身も心もリフレッシュできた有意義な時間となりました。





“旬”な情報をお届け

PhotoNews

7/5 小学生消防団員辞令交付式

小学生消防団員の辞令交付式を行いました。

小学生消防団員は、大井町を災害から守るために日ごろから励んでいる消防団の活動をよく知ってもらうとともに、消防・防災への知識と関心を深めていくことを目的としています。

今年は大井小学校と上大井小学校の4～6年生に対象を拡大して実施しています。



辞令交付式では、1人ずつ消防団長から法被を、町長からは辞令を受け取りました。法被と辞令を受け取った小学生消防団員は、立派な敬礼で応えていました。

これから第1分団・第2分団・第3分団・第4分団の訓練などに参加しながら消防団の活動を体験します。また、消防団活動の他にも小田原市消防本部や陸上自衛隊駒門駐屯地、神奈川県総合防災センターの施設見学などを予定しています。

消防団活動を頑張っている小学生消防団員を見かけたら、ぜひ応援してください。



7/11、15 社会を明るくする運動 ～犯罪や非行のない地域社会を築きましょう～

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行を防止するとともに、過ちを犯した人たちの更生について理解を深め、誰もが安心して暮らせる地域社会を築くための全国的な運動です。7月はこの運動の「強調月間」でした。

町でも、保護司、更生保護女性会、人権擁護委員による「大井町社会を明るくする運動実施委員会」が中心となり、街頭キャンペーンを実施しました。



7月11日（土）には、ヤオマサ大井町店、ヤオマサあしがらモール店、ファッションハウスローリエ大井町店、ブックオフ大井松田店、カインズ大井松田店のご協力のもと、店舗を訪れた方に啓発物品を配布しました。

7月15日（水）には、朝の通勤・通学時間帯に、相模金子駅と上大井駅を利用する方に啓発物品を配布しました。犯罪や非行を防ぎ、立ち直りを支えるためには、地域全体で温かく見守る気持ちが大切です。これからも、安全安心な大井町を築いていきましょう。